

研究課題番号	5RF-2002
研究課題名	機械学習を用いた大気汚染予測システムへのガイダンス手法の開発と予測精度向上
研究実施期間	令和2年度～令和3年度
研究機関名	九州大学
研究代表者名	弓本 桂也

1. 委員の指摘及び提言概要

研究目的・方法と将来への適用まで明確な問題意識のもとで研究が進められただけでなく、次に行うべき課題等も十分に整理されている。例えば、高濃度で発現頻度の少ない事象をどのように学習してモデルに取り込むのかといった課題は残っているが、日常的に生じている現象の再現は出来ており、機械学習により大気汚染予測の確実性が大幅に上昇するなどの非常に有意義な実際的な成果が得られていると判断される。今後、大気汚染予測システム VENUS への迅速な実装化など、環境政策に貢献するというアウトカムを明確にして研究を進めてもらいたい。加えて、是非論文化も積極的に進めてほしい。

2. 採点結果

評価ランク：S